

AKOME

# 阿古女通信

2017, 5, 17 No. 204

福岡市手をつなぐ育成会  
指定障がい福祉サービス事業所

## ひまわり園

TEL (092) 882-0432  
FAX (092) 885-3860

〒819-0006  
福岡市西区姪浜駅南四丁目十番十三号

Email en@fiku.jp

### ■新年度のご挨拶

「新しい年度を  
迎えるにあたり」  
園長 花田敏秀

地球温暖化のせい桜の開花時期がだんだん早くなってきているように感じていますが、今年は3月になって寒い日が続いたせいか遅れて久しぶりに満開の桜の中での入学式となりました。特別支援学校や施設がある姪浜地区の中学校の卒業式、入学式に参加させていただきました。どれも感動的で素晴らしい式だったと思います。

さて、ひまわり園でも3名の新卒の仲間を受け入れて入所式、職員の人事異動に伴う退任式・離任式・着任式を執り行いました。今年の式ではとにかくWELCOMEの気持ちで仲間を迎えようと話し合い、1年の活動をスクリーンに映してオリエンテーション代わりしたり、練習をして歌の贈り物をするなどいろいろ工夫をいたしました。改めまして式に参加された皆様のそれぞれが役割、活躍の場を得てその未来が生き生きとした輝くものになることを祈念いたします。

ところで、冒頭「桜」のことを書きましたが、中世までは「花」といえば「梅」のことを指し、広く人々に愛され好まれたそうです。ちなみに「梅」は菅原道真公を慕って京都から飛来した「飛梅」にちなんで福岡県の県花でもあります。「存知のよう」に梅は2月の寒い時期、厳しい自然環境の中で咲く花です。京都といえは同志社大学の創立者である新島襄は「庭上の一寒梅」という漢詩を残しています。

庭上一寒梅 笑侵風雪開 不爭又不力 自占百花魁 庭上(ていじょう)の一寒梅(いちか)か(んばい)笑って風雪を侵(おか)して開く不爭(あらず)わず又(かつ)つとめず自(おの)ずか(ら)百(ひゃく)花の魁(さきがけ)を占(し)む

その意味は、庭先にある一本の早咲きの梅が、きびしい風や雪の寒さにもめげず笑うが如くに開いている。一番咲きを争うこともなく、また特に努力するでもないが、それでいてあらゆる花のさきがけとなって咲いている。謙虚な姿であり人もこうありたい。

社会事業を文字通り風雪を侵して創始し実践して今日に至る社会福祉施設等の魁(さきがけ)となりました。

今日の時代は「社会福祉法の改正」にもみられますように社会福祉法人の役割が改めて問われる、厳しい時代となりました。新年度を迎えるにあたり、この機に明治の初期に社会事業を始めた先達の苦労に思いをはせ社会福祉施設の原点に立ち返って考えてみることも必要ではないかと思ひ新島襄の漢詩を紹介いたします。

最後に私事ですが今年、福祉施設の職員として40年、ひまわり園に赴任して4年目となり、馬齢ばかりを重ねて何らの取り柄もありませんが、後輩の同志の皆さんたちを迎えるにあたり、厳しい環境の中にあっても、この仕事の醍醐味とも言える部分を伝え、先輩として少しのさきがけとなる、そのことを今年一年の目標として取り組んでいきたいと思っております。今年もひまわり園ともどもよろしくお願いいたします。



### 生活介護 陶芸・木工・手芸

今年度、特別支援学校を卒業された2名の方が生活介護事業に入所されました。若い利用者が増えたことで、作業室内の雰囲気も明るくなりました。そして、新規の利用者に対し、ひまわり園のことを教えている利用者の姿をよく目にします。

現在、地域の夏祭りの販売に向け、総動員で作品作りを行っております。新製品ができましたら、保護者会や班別懇談の時間には是非、保護者の方にお伝えできればと思います。また、今年度より朝礼の時間にシヨップひまわりの売り上げを報告する時間を設けており、作った製品が売れる喜びを全体で共有し、作業意欲の向上につながればと考えております。

作業と並行して、今年度も引き続き、外活動(チラシ配り、園内の園芸作業、ドライブ、地域清掃等)を実施していき、運動機能の維持・向上に努めていきたいと思ひます。職員も新卒の学生を含め、合計3名加わり、「チームアプローチ」をモットーに支援していきたいと思ひますので、何かありましたら、ご意見頂けたらと思ひます。



### 製菓班

平成29年度が始まり、製菓班は利用者17名、職員3名、パティシエ1名でスタートしました。昨年納品先が増えて以来毎日バタバタしていますが、今年度も4月早々から注文が入り忙しくしております。

昨年開始した、金曜日の作業後の反省会が利用者の発言の場になっていくように、色々な意見が今でも飛び交っています。その影響で、作業選択の際も自分から行いたい作業を言う事ができたり、作業中も声を掛け合い協力したりして取り組むことができています。

多くのお客様に美味しいお菓子を食べてもらうため、一つ一つ丁寧に仕上げています。最近では、お客様から「美味しかったです」と電話が入ることがあり、利用者さんのやる気も一段とアップしています。一人一人の作業スピードも上がり、一日にたくさん量の仕事をこなせることができています。利用者さんからは、「新商品が作りたい・新しいことにチャレンジしたい」という声が上がっており、職員一同試行錯誤して今後に向けて頑張っています。安心・安全・美味しいお菓子作りを目指してこれからもがんばっていきます。



### パン班

パン班では利用者十五名、職員五名で楽しく作業に取り組んでいます。四月から新たに中村(元カフェ班)、白水(元生活介護班)がパン班へ配属となるとともに学校を卒業したばかりの利用者さんが入ったことで、フレッシュな顔ぶれで今年度をスタートすることとなりました。

昨年からの一年間で、作業面はもちろんですが生活面でも様々なことに挑戦してまいりました。具のせが上達したり、窯入れ・窯出しができるようになったり、身だしなみへの意識が向上したりと一人一人の頑張りを肌で感じています。利用者さんから「〇〇ができるようになったよ!」と教えてもらうことがあり、そのたびに私たち職員も嬉しい気持ちになります。時にはうまくいかないこともあります。時には協力し合ったり助け合ったりしながらみんなで協力して作業に取り組んでいます。また、毎週金曜日にはパン班で製造したパンを給食として出させてもらっています。「今日の給食のパン、美味しかったよ!」と声を掛けてもらうことも多くその言葉が利用者さんの励みになります。

昨年度はパン班みんなの頑張りが実り、売り上げが前年より八十万円ほどアップし工賃向上に繋がりました。シヨップひまわりにも毎日、日替わりで美味しいパンをお出ししていますので、ぜひ一度、足を運んでみてください。





# カフェ

新年度が始まり、カフェ・サンフラワーには常連のお客様だけでなく、転勤や異動等で市役所やその周辺にお勤めの新規のお客様が来店されています。

メニューでは、日替わりランチ、唐揚げや豆腐ハンバーグ、焼きカレーだけでなく、月替わりのサンドも人気上昇中!! ひまわり園のパンを使用し、ひとつひとつカフェメンバ―が心を込めて手作りしています。またチーズケーキやパフェ、季節の素材を使ったタルトやガトーショコラなどのデザートも充実してきた為、食事以外のちょっとした休憩にご利用頂くお客様も増えてきています。

現在カフェメンバ―は2名。ちよつと寂しいですが、毎月ひまわり園からサポートメンバ―が出張して来てくれています!

園内のお仕事だけでなく、調理や接客、食材の買い物経験ができるのもカフェならでは。皆さんぐんぐん力をつけて働かれています。いつか飲食関係に就職したい! お家で簡単な調理ができるようになったらいいな...等、調理や接客に興味のある方がどんどんこの場をいい経験の場として利用していただけたらいいなと思っております。



# みんなの声を聴く会

今年も皆さんの意見を取り入れ、利用者がより良い園生活を過ごすことが出来るように、みんなの声を聴く会を2月24日(金)に行いました。

約2か月前から各班の代表者と一緒に作業についてと生活についてのテーマを話し合いました。そしてテーマを「各班の作業内容について」「工賃について」に決定し、各班の発表者に発表をして頂きました。

今年度は新たな取り組みとして、プロジェクトとスクリーンの使用を取り入れました。プロジェクトを取り入れ写真や動画を流したことで発表を聞いている利用者が発表の内容がよりわかりやすくなり、どの利用者も発表者の言葉に耳を傾けられていました。

また、保護者の参加も多く発表後の質疑応答の時間では、



利用者からだけでなく、保護者からも質問が出る事がありとても盛り上がる事が出来ました。

発表された内容や質疑応答の内容は模造紙にまとめて、感謝デーのフリールームに掲示させて頂きました。

発表者のご家族の方々には写真の提供をありがとうございました。お陰様で、今までで一番良い、みんなの声を聴く会を行うことが出来ました。心より感謝いたします。



# 感謝デー

今年も3月4日(土)穏やかな晴天の中、感謝デーを開催することが出来ました!!

例年行っている、パン・製菓・陶芸・木工・手芸の即売会、生活介護班の作業体験、カフェ開店に加え、今年初めて「豚汁の振る舞い」と阿古女祭で好評だった、「お米詰め放題」を企画しました!!

その効果もあってか、例年よりたくさんのお客様が来園され、大盛況となりました。

お米詰め放題は開始時間前から沢山のお客様が並び、開始15分ほどで完売となりました。即売会では沢山の方々に商品を手にとって頂きました。また、豚汁振る舞いは天候に恵まれ暖かい中ではありましたが、

来園いただいた方々に「美味しい」とお声を頂きながら振舞わせてもらいました。

また、作業体験では陶芸「オリジナル小皿作り」手芸「クルミボタンストラップ作成」木工「フクロウ作り」をそれぞれ行い、お子様連れの方やご夫婦の方など沢山の方に普段利用者が行っている作業を楽しみながら体験して頂く事ができました。

開催にあたり、ご来園・ご協力頂いた沢山の方々にこの場を借りて御礼申し上げます。次回もご協力の程賜り、魅力的な感謝デーを開催したいと思います。

# 作業体験



# お米の詰め放題



## 退任者・異動者

新入所・着任者 紹

●退任者  
岩永 恭子

●異動者

荒井 晃紀 久保 勝己  
尾崎 望 松崎 典子

(早良ひまわりハウスへ)  
野口 美奈子  
(早良第2障がい者  
基幹相談支援センターへ)

木本 光一  
(ひまわりパーク六本松へ)

●新入所者

大平 真夜(就労移行事業)  
瀬川 翔太(生活介護事業)  
濱地 拓実(生活介護事業)

●着任者

田中 泰之 河井 勇  
里田 湧生 水田 陽梨  
吉村 光代 小路 彩花  
(ライフサポートてをつなぐ)  
岡嶋 ゆかり



